

プロジェクター受注に必要な基礎用語

・明るさ（単位：ANSIルーメン、投映する光の強さ）

プロジェクターが投射する光量。光量が多いほどコントラストが上がり、美しい映像になる。

明るさは、使用する環境で判断する。環境に応じて必要な光量を判断する必要がある。

原則的に上位互換であり、予算面で許されるなら光量が多い方を選択する方が望ましい。

明るさ（クラス）	現在の状況
5000ANSIルーメン	<ul style="list-style-type: none">・かなり明るい。・300人規模の視聴者が目安。・完全暗転で、300インチ以下が実用範囲。・標準仕様では、200インチが目安。・ホテルの大型宴会場や、中規模ホールなどに対応可能。・カメラで中継される映像などを投映する時は、このクラス程度の光量がないと、思ったようなクリアな映像は表示できない。
3000ANSIルーメン	<ul style="list-style-type: none">・明るい。・200人規模の視聴者が目安。・完全暗転で、200インチ以下が実用範囲。・標準仕様では、150インチが目安。・ホテルの中型宴会場や、小規模ホールなどに対応可能。
2000ANSIルーメン	<ul style="list-style-type: none">・標準的な明るさ。・100人規模の視聴者が目安。・完全暗転で、200インチ以下が実用範囲。・標準仕様では、150インチ以下が目安。・ホテルの小規模宴会場や、大会議室などに対応可能。・カメラで中継される映像などを投映すると、思ったようなクリアな映像は表示できない。
1000ANSIルーメン	<ul style="list-style-type: none">・少し暗い。・20人規模の視聴者が目安。・完全暗転で、150インチ以下が実用範囲。・標準仕様では、100インチ以下が目安。・小会議室などに対応可能。・予算面で制約のある場合に選択されることが多い。

レントオール江戸川（協力：西尾レントオール 通信レンタルセンター）